

スポーツ観光を推進 町とコンサドーレ人材派遣で合意

4月23日、洞爺湖町とコンサドーレ北海道スポーツクラブは、「スポーツ観光推進人材育成兼地方Uターン人材育成プログラム」を実施していくことに合意をしました。

当町出身の男性1人を1年間同スポーツクラブで受け入れてもらい、サッカースクールなどの事業を経験して、洞爺湖町に戻ってそのノウハウを還元し、地域の活性化に役立たせようとするものです。コンサドーレが自治体から人材を受け入れるのは初めて。

森副町長は「来春人工芝のグラウンドの完成もあり、これからもスポーツ観光を進めて、交流人口を増やしていきたい」と期待を述べました。



人材派遣で合意し、握手を交わす森副町長（左）と三上代表理事

4月25日、観光シーズンを迎え、洞爺湖町建設協会主催の西山山



西山散策路の整備を行う建設協会の皆さん

麓火口散策路の整備活動が行われました。

参加したのは、同協会会員と町職員ら合わせて31人。

観光客がけがの無いように楽しく散策してもらおうと毎年この時期に行っています。

今回は、枕木13本と焼き丸太10本が交換されたほか約120カ所で枕木のモルタル埋めが行われ、老朽化したロープも張り替えられました。参加した会員らは「少しでも気持ち歩けるように」と願い、散策路整備に汗を流しました。

町建設協会ボランティア 西山散策路を整備

5月8日、月浦森林公園で、「月浦森林公園の春を楽しむ会



（いきい

き教室／NPO法人森・水・人ネットワーク主催）が行われました。

多彩な植物や野鳥が観察できる月浦森林公園の魅力を知ろうと町民や同ネットワーク会員ら約40人が参加し、芽吹き始めた野草など春の訪れを感じていました。

ガイドを務める木村ネットワーク代表が「この近辺の森林公園では、突出して素晴らしい。もっとこの公園を知ってもらいたい」と挨拶。参加者は、散策しながら、シラネアオイ、エンレイソウなど様々な野草を観察し、森林公園の魅力を満喫しました。

月浦森林公園で野草を観察 春を楽しむ会

洞爺ふるさと交流センターオープン 歴史的な資料を展示

高 齢者が集うサロンと郷土資料展示室を備えた「洞爺ふるさと交流センター」のオープニングセレモニーが、5月10日に行われました。町議会議員や福祉ボランティア、郷土史関係者、洞爺保育所の園児ら約50人が参加しました。

同センターは、昨年春に廃止された洞爺ふれ愛センター併設の旧洞爺診療所を改修して作られたもので、地域の高齢者が気軽に立ち寄れる高齢者サロンと老朽化した洞爺郷土資料室の全ての資料を移して展示しています。セレモニー後に内覧会が開かれ、参加者は、農機具や生活用品、映画のポスターなどを懐かしく眺めていました。



洞爺ふるさと交流センターのオープニングテープカット

まちのわだい

